

北海道新聞
自治体PR・地方創生関連ご案内

《宮古・室蘭フェリー航路開設の観光PR施策》

さっぽろ雪まつりと、本紙および広告特集などでの展開

2018年6月の岩手県宮古市と北海道室蘭市のフェリー航路開設に先駆け、地元・西胆振エリアはもとより、札幌市を含む道央圏をターゲットとした観光PR施策を立案。事前ヒアリングにより、岩手県側が札幌圏在住者に対して三陸エリアへの観光流入を期待していることが分かり、札幌本社版の紙面+さっぽろ雪まつりでの観光プロモーションをメインとした企画を、岩手県宮古市（宮古港フェリー利用促進協議会）に提案しました。



岩手県沿岸広域振興局が、開業100日前に紙面成果物による観光PRを検討していると聞き、別刷広告特集とポスター化も提案。岩手県沿岸広域振興局の管内（岩手日報）+北海道新聞（函館版+日胆版）にて別刷を朝刊に折り込み、両道県に2,000部のポスターも設置し、PRを行いました。その結果、別刷広告特集は、沿岸エリアの観光地ならびに来県促進が図られたと喜ばれました。地元への販促懸賞品キャンペーンは現在も応募期間中ですが、前年以上の反響となる見通しとのことでした。

- ◆さっぽろ雪まつり「道新氷の広場」特設ブース & ステージイベント告知 (2018年2月4日 朝刊 札幌本社版 全7段 ※協賛スペース 5段1/2)

- ◆宮古・室蘭航路開設 100日前広告特集 (2018年3月14日 朝刊別刷 日胆版+函館版)



また、未購読世帯への訴求として、春の北海道新聞PR版の裏面の広告利用に、岩手県宮古市・北海道室蘭市からの協力も実現。PR版の懸賞品も宮古特産品（浜たれシリーズ・いかせんべい）に設定しました。

そして、さっぽろ雪まつりでは、多くの来場者に航路開設を周知でき効果的であったと聞き、北海道内外の観光客や地元の方々の声も多くヒアリングできたと大変喜ばれました。また、イベントには多くの若手職員が参加し、研修の観点からも大変有意義であったとのことでした。ステージイベントでも多くの観客が集まり、さっぽろ雪まつりの集客効果を感じていただけました。さらには、川崎近海汽船(株)とのコラボレーションも実現でき、全体を通して北海道新聞とタイアップした意義を感じていただけたと思います。



裏



- ◆北海道新聞PR版 (2018年2月10日 別刷 全15段 《約2万部発行/室蘭版+管内未購読世帯折込》)

(室蘭支社営業部 大佐和 惇)

◆お問い合わせ/北海道新聞社営業局 (TEL011-210-5713) または 各支社営業部へ (2018.6)

* ウェブサイトにバックナンバー掲載中! 【道新 営業局】で検索! (<http://adv.hokkaido-np.co.jp/>)